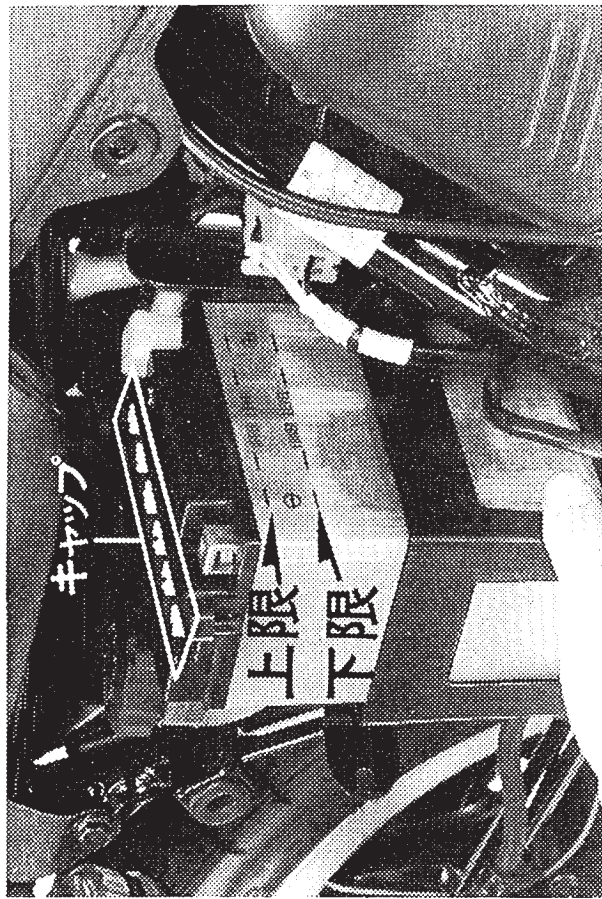


バッテリー液の点検・補充

- ・右、左サイド カバーを取外します。
- ・-(マイナス)コードの接続を外し、バッテリーホルダーを外します。
- ・+(プラス)コードの接続を外し、バッテリーを引き出して、バッテリーの液量を点検します。
- ・液量が下限(LOWER LEVEL)に近かったら、キャップを外し、蒸溜水を上限(UPPER LEVEL)まで補給します。

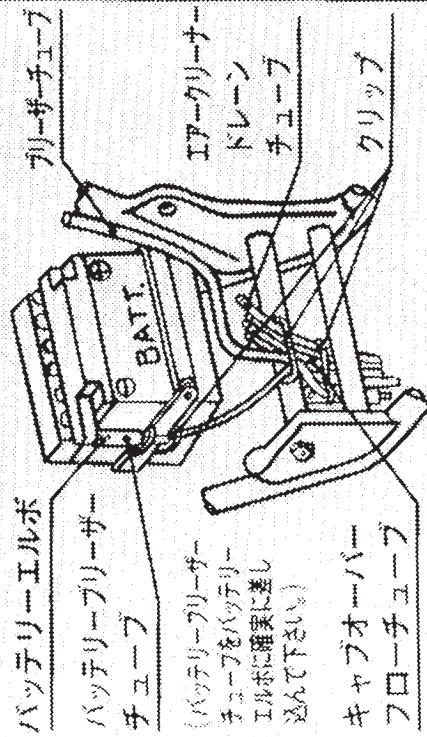
注意

- ・車が傾いていると、液量は正確に計れません。
- ・バッテリー液を入れ過ぎると、こぼれて腐蝕の原因になります。
- ・バッテリー液を点検補給した後は、ブリーザーチューブがブリーザー孔にしっかりと結合されていることを必ず確認してください。
- ・ブリーザーチューブがかんだりつまっていると、バッテリーの内圧が高くなりケースが破損することがあります。
- ・配管は正しいか確認してください。
- ・バッテリーからは、可燃性の水素ガスが発生してまいりますので、取扱うときは、火気を近づけないでください。
- ・バッテリー液は、希硫酸で目や皮膚を侵しますので、十分注意してください。万一、付着したときは、すぐに多量の水で少なくとも5分以上洗浄し専門医の診察を受けてください。
- ・充電の際は結線に十分注意し、すべてのキャップを外してください。また密閉された場所では必ず換気を行なってください。



注意

配管は下図のようになって下さい。



425-700